

デジタル時代のスキル変革ウェビナー2022 ～自律した「学び」が個人と組織の成長を促す～

パネルディスカッション講演者紹介

・モデレーター



羽生田 栄一 氏

株式会社豆蔵取締役/グループ CTO。IPA 非常勤研究員。技術士（情報工学部門）。オブジェクト指向、概念モデリング、アジャイル、パターンランゲージ等の導入支援・組織変革コンサルティング。過去に、アジャイルプロセス協議会会長、IPA/SEC 設計技術部会委員、情報処理学会ソフトウェア工学研究会主査、IPA IT アーキテクト・コミュニティ委員、等を務める。趣味は寺社・祠や富士塚・路地・古書店等を巡る街歩き。

・パネリスト（五十音順）



井庭 崇 氏

慶應義塾大学総合政策学部教授。博士（政策・メディア）。株式会社クリエイティブシフト代表，パターン・ランゲージの国際学術機関 The Hillside Group 理事，および，一般社団法人みつかる+わかる理事。専門は，創造実践学，創造の哲学，未来社会学。著書に、『クリエイティブ・ラーニング：創造社会の学びと教育』（編著）慶應義塾大学出版会，2019 年，『ジェネレーター：学びと活動の生成』（共著）学事出版，2022 年，『パターン・ランゲージ』（編著）慶應義塾大学出版会，2013 年，『社会システム理論』（編著）慶應義塾大学出版会，2011 年，『対話のことば』（共著）丸善出版，2018 年，『プレゼンテーション・パターン』（共著）慶應義塾大学出版会，2013 年，『プロジェクト・デザイン・パターン』（共著）翔泳社，2016 年，『おもてなしデザイン・パターン』（共著）翔泳社，2019 年，『コロナの時代の暮らしのヒント』晶文社，2020 年，『複雑系入門』（共著）NTT 出版，1998 年等。



下川裕太郎 氏

日本電気株式会社(NEC)デジタルビジネスプラットフォームユニット デジタルビジネスプラットフォーム企画統括部 HRBP グループ・主任。入社以来、主に人材・組織開発の業務に従事。2019年から3年間、IPA 社会基盤センターへ出向。デジタル時代の“学び直し”促進に向けた業務として、調査事業、ITSS+の改訂・普及、デジタルリテラシー向上施策、そして大人の学びパターン・ランゲージ(略称まなパタ)の制作などを担当。プライベートでは二児のパパとして奮闘中。



中佐藤麻記子 氏

京都女子高校・旧大阪外国語大学イスパニア語学科卒業後、社内SE、トレーニング講師、組込みソフト開発サポートを経て、現在は株式会社豆蔵にてアジャイル開発・オブジェクト指向・UML・要件定義などのコンサルティング・トレーニング講師を主たる活動としている。2015年から2018年まで Agile Japan 実行委員。最初の会社で汎用機・オフコン・UNIX・Windows と複数の環境にまたがって開発したこと、物事をメタレベルで考える機会が、その後の仕事のベースになり、今に至る(気がする)。主な執筆物:「これだけは知っておきたい組込みシステムの設計手法」(技術評論社・共著)、「ディシプリンド・アジャイル・デリバリー」(翔泳社・共訳)、他



吉岡弘隆 氏

1984年慶応義塾大学大学院理工学研究科修了。外資系ハードウェアベンダ(DEC)コンパイラ、データベース管理システムの開発。米国 Oracle で Oracle8 エンジン開発、2000年にミラクル・リナックスの創業に参加、取締役CTO。2009年、楽天株式会社、技術理事。社内に Hacker Centric Culture を根付かせることがミッション、開発コミュニティの推進、開発広報。2018年9月定年退職(満60歳)。東京大学大学院情報理工学系研究科博士課程に入学、データベース工学(特に不揮発性メモリ)の研究が専門、カーネル読書会、1000 speakers conference in English 主宰。ビジネス・ブレイクスルー大学経営学部 IT ソリューション学科 教授。